

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年1月18日 (2018.1.18)

【公表番号】特表2016-540341 (P2016-540341A)

【公表日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-069

【出願番号】特願2016-520689 (P2016-520689)

【国際特許分類】

H 0 1 M 4/48 (2010.01)

H 0 1 M 4/36 (2006.01)

H 0 1 M 10/36 (2010.01)

H 0 1 M 4/66 (2006.01)

H 0 1 M 4/72 (2006.01)

H 0 1 M 4/57 (2006.01)

H 0 1 G 11/04 (2013.01)

H 0 1 G 11/46 (2013.01)

H 0 1 G 11/42 (2013.01)

【 F I 】

H 0 1 M 4/48

H 0 1 M 4/36 B

H 0 1 M 10/36 A

H 0 1 M 4/66 A

H 0 1 M 4/72 Z

H 0 1 M 4/57

H 0 1 G 11/04

H 0 1 G 11/46

H 0 1 G 11/42

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年11月24日 (2017.11.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 1 】

(e) 項目 (a)、(b)、(c)、(d) の上述のタングステン材料の 1 種以上、
及び、追加のタングステン非含有材料からなる混合物または複合体材料

(ここでタングステン材料は、三酸化タングステン ($W O_3$)、含水三酸化タングステン
($W O_3 \cdot n H_2 O$)、元素ドーブされた三酸化タングステン ($A_x W O_3$)、または元素
ドーブされた含水三酸化タングステン ($A_x W O_3 \cdot n H_2 O$) であり、

前記タングステン非含有材料は、次の材料：炭素材料、ポリマー材料、金属酸化物もしくは
はその塩、またはセラミック材料から選択されてもよく、

前記炭素材料としては、カーボンブラック、オニオン構造化炭素粒子 (onion structured
carbon particles)、活性炭、メソ多孔性炭素、カーボンナノチューブ、カーボンナノ
ファイバー、グラファイト、グラフェン、グラフェンオキシド、またはこれらの種々の組
み合わせが挙げられるが、これらに限定されず、

前記ポリマー材料としては、ポリアニリン、ポリピロール、ポリチオフェン、ポリ (3 ,
4 - エチレンジオキシチオフェン)、ポリスチレン、スルホン化ポリスチレン、またはこ

これらの種々の組み合わせが挙げられるが、これらに限定されず、金属およびこれらの塩としては、チタン、バナジウム、クロム、ジルコニウム、ニオブ、モリブデン、鉛、ビスマス、またはこれらの種々の組み合わせが挙げられるが、これらに限定されず、

前記セラミック材料としては、酸化ジルコニウム、酸化ケイ素、酸化ストロンチウム、酸化アルミニウム、または種々のこれらの組み合わせが挙げられるが、これらに限定されない)；

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

(f) 項目(a)、(b)、(c)、(d)の上述のタングステン材料の1つ以上、及び、項目(e)の前記混合物または複合体材料からなる混合物または複合体材料
(ここでタングステン材料は、三酸化タングステン(WO_3)、含水三酸化タングステン($WO_3 \cdot nH_2O$)、元素ドーブされた三酸化タングステン(A_xWO_3)または元素ドーブされた含水三酸化タングステン($A_xWO_3 \cdot nH_2O$)である)。